一斉清掃
市民の手で

六月五日～六月十一日の『第七回環境週間』によせて、六月十日（日）、市内全域で『一斉清掃』が行われました。

この日は、早朝から地区ぐるみで参加したところもあり、また各地区の衛生委員、河川監視員、各種団体などの協力もあって、約百八十トンのゴミや四十トンもの古ビニールが集まり、『ゴミのない南国市』づくりに大きな成果をおさめました。

朝五時、後免町商店街……動くものはほとんどない。後免町公民館の前に人影が……。

高島清雄さん（東町）は、四年も前から自宅前から商店街を西へ日吉神社まで、時には市役所までも清掃してくれています。

そうじは、午前三時頃から始め、終って朝食をとるのが九時半ごろ。

作業の苦労は……と聞くと『暗い時間に作業するため、ゴミが残ることがあり、かえって迷惑をかけることになっていはしないか心配……』と謙そん。

後免東町では、各世帯一人以上は出ようと事前に会合を持ち、朝六時、約四十人が参加して溝などの清掃が行われ、さわやかな朝の後免町となりました。

また、稲吉部落では、広報車で放送し、一斉清掃への参加を次のように……

『今日は南国市全域を挙げて行う一斉清掃の日です。最近清掃奉仕日の参加が消極的になってきたように思われますが、今日を区切として全員参加の姿に立帰っていただきたいと思います。仕事などの都合で出られない方は、事前に自宅の周囲の道、溝などは責任をもって清掃せられるよう環境モデル地区としての稲吉の伝統を守っていきましょう。

部落行事に対する部落民の共同参加は、単にその時の目的を達成するだけでなく、部落の融和団結やお互いの親睦を深め社会体温の高い地域づくりを進めるための大きな意義を持つものであって……奥さんは毎朝お化粧をすると同じ気持ちで、ご主人は、愛車の手入れをすると同じ気持ちで……先づ今日の行事を再出発として全員参加でご協力をお願いします。』と呼びかけ、子どもたちも手伝ってきれいな部落になったようです。

一斉清掃について、市民の声をひろってみると、『大がかりな清掃は一人ではなかなかできにくく、毎年の恒例行事となった〝一斉清掃〟は絶対必要です。町ぐるみの清掃として、ムードも盛り上ります。』『掃除しやすいよう、市としても排水路の整備をしてほしい。』『年に一度ではなく三回ぐらいしては…』『市の機動力を高めてほしい。』『市から用具などの貸出しをしてほしい。』『目を決めて全体でやることは、自覚を持つ意味からも良いことだ。』などでした。

この行事に参加していただいたみなさん、ほんとうにご苦労さまでした。この行事を再出発として住みよい南国市を築きあげていきましょう。

北部高齢者教室がスタート

高齢者の健康と生きがいづくり、また交流の場として好評の『高齢者教室』。

これまで開催されている、中央・三和・前浜の三つの教室に加えて、六月三十日、『北部高齢者教室』が開講しました。

市内北部のお年寄りたちは、この高齢者教室へ参加するのにも、〝中央の教室〟（市役所北側の社会福祉センター）まで来なくてはならないため、〝北部にも、ぜひ教室を〟という声が高まっていたものです。

久礼田小学校体育館で行われた当日の開講式には、地元のお年寄り約八十人や来賓、関係者らが出席。開講式までの経過報告に続いて、国松教育次長らが『健康に注意するとともに頭の体操もしてください。こうした学級は先ぼそりする傾向がありますが、今日の気持ちを忘れず、ますます盛り上げていってください。勉強に終りはありません。』と激励の言葉。これに対して、学級長の沢村栄作さんが『みなさんの熱意で開講することができました。これからますますがんばっていきましょう。』とあいさつ。このあと、地元の徳橋昭俊さんが〝学級の発展を〟と自慢の〝詩吟〟を披露し、参加者らから盛んな拍手が送られました。

開講式に続いて、元県教育委員の甲藤義治先生による講演『高齢者の生きがい』があり、生きがいづくりのためにどんなことをしたらいいのか、また健康づくりの例などの話を聞いた参加者の一人は『先生の話を聞くだけでなく、生活のなかにも生かしていかなければ……』と感想を話していました。

なお、北部高齢者教育の今年の計画は次のとおりです。（講師の都合などで日程は変更することがあります。）

7／28	高血圧の食療法	中央保健所栄養係長 前田正子
9／8	同和教育	中央教育事務所 川端三雄
10／27	体力づくり（運動会）	沢村栄作 山本知一
11／24	研修旅行 安芸方面史跡めぐり	南国市史編さん委員 利岡富次
12／15	高齢者の栄養食	児童家庭課栄養士 中川喜左
1／19	みんなで楽しく折紙	大津東保育園 川井淑子
2／9	高齢者の健康管理	県体育保健課指導主事 野島昌子
3／8	閉講式 みんなで楽しく歌いましょう	社会教育指導員 岡崎素輪 社会教育課 高木正平

ソフトボールで親睦を

長岡西部地区集会所主催による第三回ソフトボール大会が、各集会所の相互の親睦を深め、集会所事業をもりあげるなどの目的で、六月十日（日）鶴ケ池中学校跡地グランドで開かれ、七チーム（約百人）が参加し、熱戦がくりひろげられました。結果は次のとおり。

■優勝＝第2集会所チーム
■準優勝＝第5集会所チーム
■第3位＝西部集会所チーム

防災訓練おわる

災害シーズンを前に、今年も六月二十三日の土曜日、市の大がかりな『防災訓練』が市内各地で行われました。

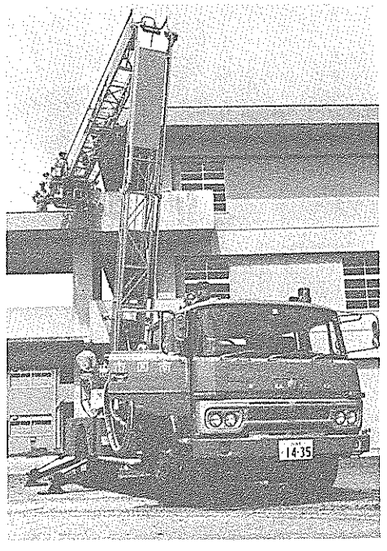
午前中は、風水害や山崩れ、がけ崩れなど想定して――白木谷小学校・幼稚園、鶴ケ池中学校、里保育所で避難訓練が、また十市の阿戸丸山境で水防訓練が、それぞれ行われました。

いつ起るか予測できない災害にそなえて、家のまわりなど危険な場所を点検し、整備しましょう。

それから、災害時の避難場所や持出品もきめて整理しておきたいものです。

午後からは、国分川岡豊橋下流の河川敷で恒例の『夏季演習』がおこなわれました。

これは災害シーズン前に、団員の士気を高めるために毎年おこなわれるもので、市内十二分団員や消防署員約三百八十人と消防車が「集合」、大いに士気をたかめていました。消防団や消防署がひまであるよう願いたいものです。



作業に使ってください

竹ぼうき50本を寄付

〝花いっぱい運動〟などを通じて、環境美化に積極的に取り組んでいる三畠の老人クラブ『長命会』で、このほどクラブの会員、井沢光治さん（83）が「清掃などのクラブの活動に使ってください。」と、日頃心をこめて作った竹ぼうき五十本を会員一人ひとりに配り、会員らから喜ばれています。

井沢さんは身体の調子が悪く、作業などにも出られないため、何か役に立ちたいと竹ぼうきを作ったもの。

長命会の会員は現在四十三人。クラブの畑（借地）に花や植木を植え手入れをしているのをはじめ、道の除草などを定期的に行っており、北岡博会長は『きれいな郷土づくりのために活用していきます。どうもありがとうございました。』と話していました。